

平成17年2月18日
中央防災会議事務局（内閣府(防災担当)）

中央防災会議「東南海、南海地震等に関する専門調査会」（第18回）

議事概要について

1. 専門調査会の概要

日時：平成17年2月18日（金）10:00～12:00
場所：虎ノ門パストラル ミモザ
出席者：土岐座長、今村、入倉、廣井、室崎、吉井の各専門委員、
原田内閣府官房審議官（防災担当） 他

2. 議事概要

中部圏、近畿圏の検討対象とすべき内陸の地震について事務局より説明を行い、それに基づき審議を行った。

会議における主な意見は以下のとおり。なお、詳細な議事録については、後日各委員の確認を経た上で公表の予定。

断層をモデル化する際の手順を整理しておくこと。

予防対策用震度分布、応急対策用震度分布について、適切に利用されるように、震度分布の目的、意味等を工夫してはどうか。

今後、震度分布のマップを公表する際には、マップの使い方を例示するなどの説明を加えてはどうか。

被害想定を行っていく際には、最新のデータを反映させることが望まれる。

今後、パラメータの調整等により、地震動推計の精度を高めていくこと。

<連絡・問い合わせ先>

内閣府 地震・火山対策担当参事官補佐 尾崎 友亮
参事官付主査 宮川 康平

TEL：03-3501-5693（直通） FAX：03-3501-5199